事例No.	761
公表年度	H30
団体の属性	一般市
団体名	富山県南砺市

事例区分	公営企業

タグ	・下水道事業 ・公共施設の集約化等 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	広域化等

事例内容・タイトル

農業集落排水事業の流域下水への接続

出典

地方公営企業の抜本的な改革等に係る先進・優良事例集

○ 事例名等

事例名	農業集落排水事業の流域下水への接続
団体名	富山県南砺市

《広域化等(共同化・最適化を含む)の類型及びその概要》

類型	汚水処理施設の統廃合
概要	農業集落排水処理区の汚水を流域下水道に接続し、処理場を廃止した。

○団体・事業の概要

行政区域内人口(人)	51,813	行政区域内面積(㎢)	668.6
事業区分・法適用区分	農業集落排水事業・適用	供用開始年月日	昭和59年11月1日
処理区域内人口(人)	7,052	処理区域内面積(ha)	291.0
施設利用率(%)	53.4	職員数(人)	1
営業費用(千円)	519,934	営業収益(千円)	131,612

※上記表中の「行政区域内人口」は、平成30年1月1日時点。「行政区域内面積」は、平成29年10月1日時点。それ以外の計数は、H30年3月末時点。

1. 取組の背景、検討を開始した契機・導入過程

(1)取組の背景、検討を開始した契機
・吉江南部処理場は、旧福光町が昭和56年～61年に整備した農業集落排水施設であり、農業用用排水の水質保全や農村の生活環境に寄与してきた。
・小矢部川流域下水道事業は、区域の拡大がなされており、平成15年には吉江南部地区の処理場から約0.3kmの位置で幹線管渠が整備されている状況にあることから、流域下水道への接続の検討を始める。
・処理施設等の老朽化が進み、今後も汚水処理機能を維持するためには、大規模な更新整備が必要となることから、平成26年に経済性、効率性、合理化を図るため、小矢部川流域関連南砺市下水道事業の全体計画を見直し、H28年に農業集落排水処理整備地区の公共下水道統合化を汚水処理整備アクションプランに位置付けた。

(2)導入過程
処理施設廃止までの経緯
H15.11　旧福光町が事業計画区域変更の認可を得る。
H28.3　南砺市と県の下水道担当部局との接続協議
H29.7　南砺市と県の農業集落排水担当部局との接続協議
H29.11　農業集落排水事業により取得した財産処分の手続き完了
H30.2　接続工事完了

2．取組の具体的内容とねらい、効果

(1)取組の具体的内容とねらい
農業集落排水吉江南部地区を小矢部川流域下水道に接続し、二上浄化センターで汚水処理を行う。
吉江南部処理施設は、処理機能を廃止後、建屋を上下水道課の機材倉庫として有効活用する。



(2)効果
①施設関連
・処理施設増減数　−1　接続管渠L=240m
②効果額
・現況施設を改築し継続利用するより、公共下水道に接続することで、約5百万円／年の経費削減が見込まれる。(処理場建設費＋維持管理費と接続管渠等建設費＋維持管理費＋汚水処理費用の比較)

3．広域化等に取り組む上での都道府県の関与や役割について

・流域下水道への接続協議は県の下水道担当部局と行い、施設廃止に伴い、補助金により取得した長期利用財産の処分を、県の農業集落排水事業担当部局を通じて調整を重ね、手続きを行っている。

4．他の自治体の参考となる点、今後の課題等

(1)他の自治体の参考となると考えられる点
・公共下水道が近い位置に整備されたため、接続を容易に行うことができた。

(2)今後の課題等
・流域下水道に接続した流量が維持管理負担金の対象になることから、管渠の不明水を低減させる必要がある。

〇問合せ先

担当課	南砺市ふるさと整備部上下水道課		
TEL	0763−23−2024	MAIL	jyogesuidouka@city.nanto.lg.jp